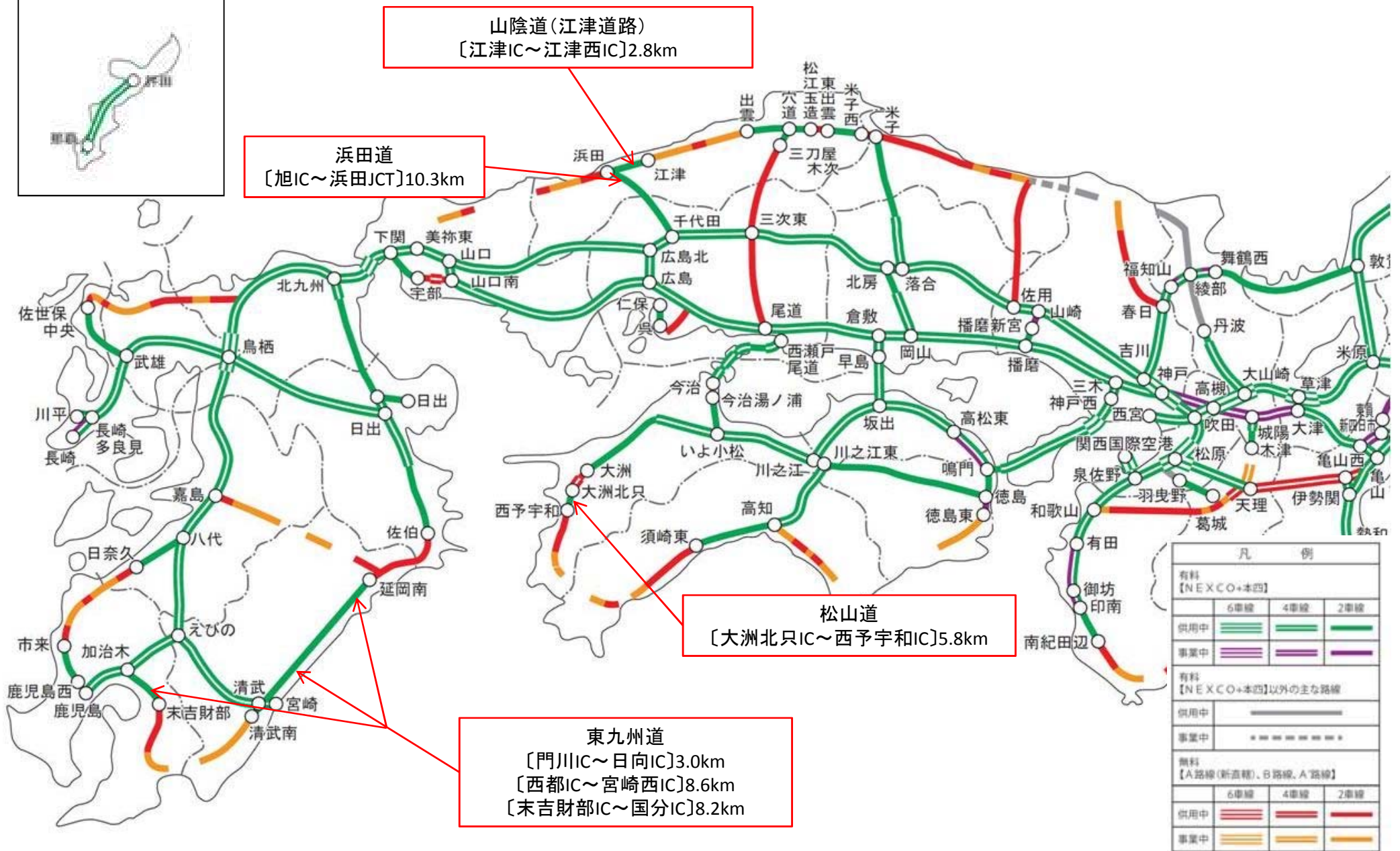


ワイヤロープの試行設置区間(広域図)



凡 例			
有料 【NEXCO+本四】			
	6車線	4車線	2車線
供用中			
事業中			
有料 【NEXCO+本四】以外の主な路線			
供用中			
事業中			
無料 【A路線(新直轄)、B路線、A'路線】			
	6車線	4車線	2車線
供用中			
事業中			

ワイヤロープについて

[ラバーポール]

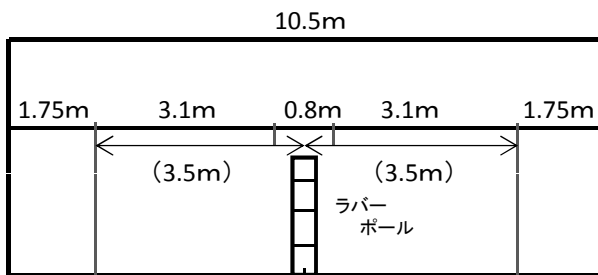


[ワイヤロープ]

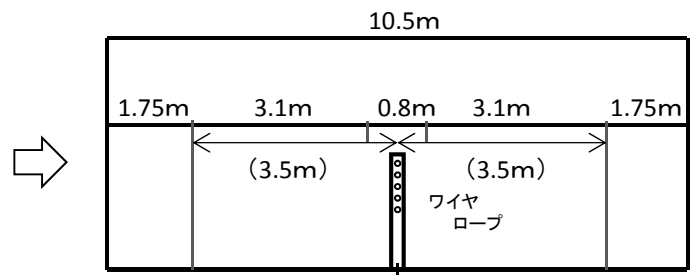


※ 写真は中央帯1.5mを確保して設置している事例

[現行]



[試行設置(案)]



【ワイヤロープの特徴】

①高い衝撃緩和性能

車両衝突時に中間支柱が倒れ、ワイヤロープのたわみが車両の衝撃を緩和して、安全に誘導。



車両が受ける衝撃を緩和

②狭い幅で設置が可能

細い支柱にワイヤロープを通してあるので、設置幅が少なく、既存幅員内で設置が可能。



細い支柱

③短時間で容易に開口部を設置

事故等の緊急時には、人力のみで容易にワイヤロープと支柱を取り外し、どこでも開口部を設けることが可能。



人力で開口部が設置可能

ワイヤロープの試行設置区間(浜田道・山陰道(江津道路))

- ・路線名 : 浜田自動車道
- ・設置箇所 : 旭IC～浜田JCTのうち約10.3km

- ・路線名 : 山陰自動車道(江津道路)
- ・設置箇所 : 江津IC～江津西ICのうち約2.8km

試行設置区間図



凡例

ワイヤロープ試行設置区間

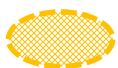
ワイヤロープの試行設置区間(松山道)

- ・路線名 : 松山自動車道
- ・設置箇所 : 大洲北只IC～西予宇和ICのうち約5.8km

試行設置区間図



凡例



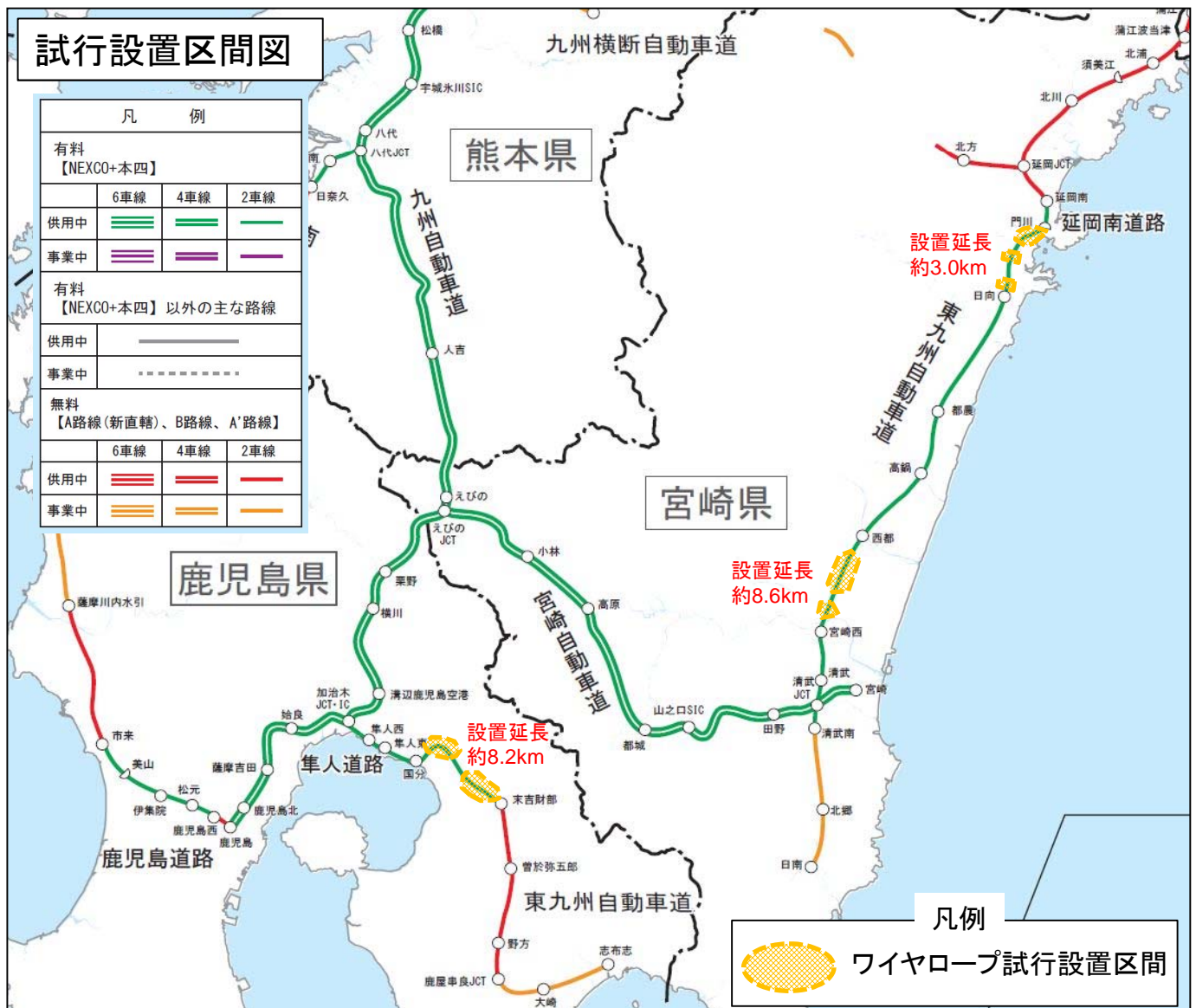
ワイヤロープ試行設置区間

ワイヤロープの試行設置区間(東九州道)

- ・路線名 : 東九州自動車道
- ・設置箇所 : 門川IC～日向ICのうち約3.0km

- ・路線名 : 東九州自動車道
- ・設置箇所 : 西都IC～宮崎西ICのうち約8.6km

- ・路線名 : 東九州自動車道
- ・設置箇所 : 末吉財部IC～国分ICのうち約8.2km



暫定二車線の高速道路：ワイヤロープ試行設置箇所

参考資料

ワイヤロープ試行区間(H24～)

今回の試行設置箇所(予定)

開通済 9,322km
うち暫定2車線区間 2,538km (約3割)

四車線化 事業中	付加車線 設置箇所	二車線
約250km	約590km	約1,700km

※延長は高規格幹線道路(有料)の延長を記載

12路線において、連続する土工部の一部区間
計約113.3kmの箇所にて試行設置

